

2018年に小惑星「ベンヌ」に到着、23年に地球帰還の予定

アメリカ版の小惑星探査機「はやぶさ」、「オサイリス・レックス」宇宙へ



①目的地の小惑星ベンヌ上空を飛行するオサイリス・レックス探査機の想像図

「はやぶさ2」と「オサイリス・レックス」は小惑星から採取したお互いの試料を交換する予定

9月8日、米航空宇宙局(NASA)は、小惑星から試料を持ち帰る探査機「オサイリス・レックス」をケープカナベラル空軍基地(フロリダ州)から打ち上げた、と発表しました。

「オサイリス・レックス」は、2010年に小惑星の試料を世界で初めて地球に持ち帰った、日本の探査機「はやぶさ」の米国版にあたり、試料の回収方法など「はやぶさ」の成果を参考にして開発されました。

目的地となる小惑星「ベンヌ」は、直径500メートルで地球に近い軌道で太陽の周りを回っています。「オサイリス・レックス」は2018年に到着する予定で、小惑星の地表を観測した後、ロボットアームで60グラム以上の試料を採取に挑戦します。

小惑星のサンプルはどのように採取するの？



②
ロボットアームのような形をしたTAGSAM(タグサム：Touch-and-Go Sample Acquisition Mechanism)を使います。アームの先端に取り付けた直径30センチメートルの採取装置を小惑星の表面に一瞬接触させ、窒素ガスを噴射し、舞い上がった砂をフィルターに吸い込んで採取します。



インタビュー「はやぶさ2」とともに太陽系誕生の謎に迫る
NASA小惑星探査機「オサイリス・レックス」主任研究員 ダンテ・ローレッタ(Dante S. Lauretta)

<http://fanfun.jaxa.jp/feature/detail/5579.html>

日本の小惑星探査機「はやぶさ2」つれづれ

【2016年8月4日】2016年8月3日の運用で、姿勢制御のモードを三軸姿勢モードからソーラーセイルモード(OWC)に変更しました。
【2016年9月2日】はやぶさ2と地球との距離が1億キロメートルを突破しました。



<http://www.hayabusa2.jaxa.jp/>

さらに詳しく知りたい方はコチラ



NASA オサイリス・レックス特設サイト(英語)
インフォグラフィックでミッションの流れが分かる
<http://www.asteroidmission.org/mission/>